

〔スバル〕 CVT リヤデフ点検モード (例 : レヴォーグ VM4、レガシー BRM)

概要


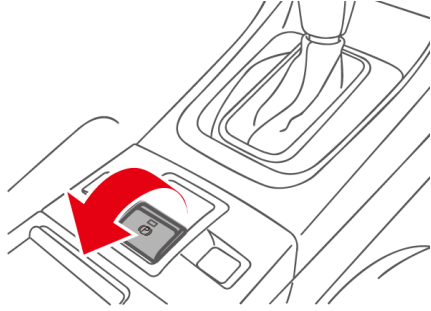
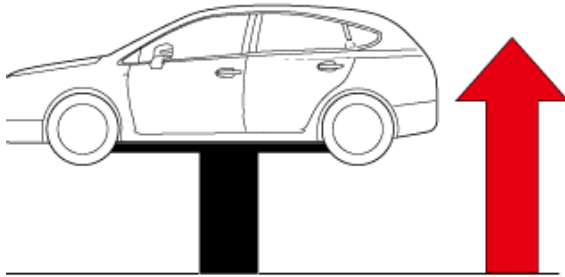
下記の作業を実施した場合、リヤデフ点検モードを実施します。

- トランスミッション ASSY 交換
- リヤデファレンシャル交換
- フロントデファレンシャルハイポイドギヤセット交換
- リヤデファレンシャルハイポイドギヤセット交換

注意 : • 「リヤデフ点検モード」は CVT モデルのみ可能です。対応していないモデルでは使用しないで下さい。

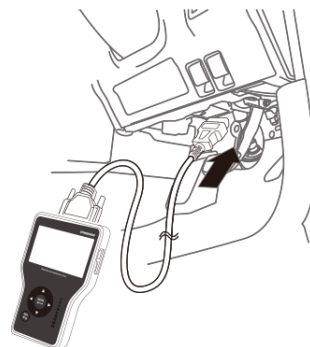
手順/操作

注意 : • 作業中に TPM2000 の OBDII ケーブルを抜いたりしないこと。

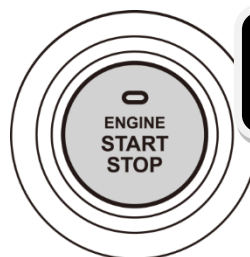
<p>1. セレクトレバーを「P」レンジにシフトします。</p>	
<p>2. パーキングブレーキをかけます。</p>	
<p>3. 車両をリフトアップします。</p>	

警告: タイヤ下部を地面から 30 cm 以上離れるまでリフトアップすること。

4. TPM2000 を車両に接続します。



5. イグニッション ON にします。(ブレーキを踏まずにプッシュエンジンスイッチを 2 回押します。)



ブレーキを踏まずに、
2 回プッシュします。

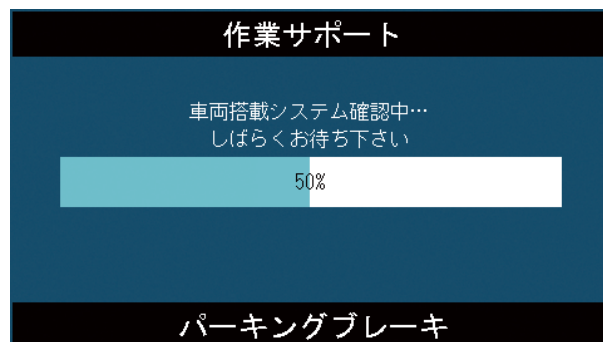
6. 『メーカー選択』画面から [国産乗用車] - [スバル] を選択して [ENTER] をタップします。



7. [作業サポート] を選択して [ENTER] をタップします。



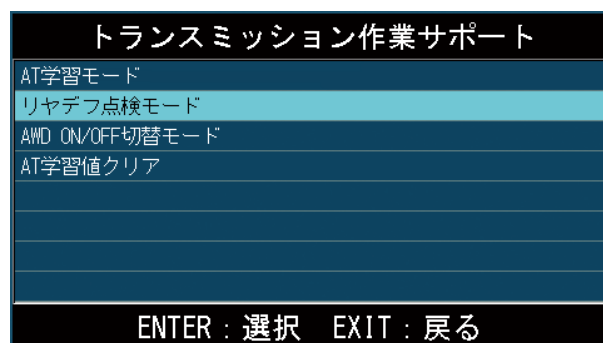
8. 車両搭載システムの確認が始まります。



9. 『作業サポート』画面が表示されましたら、
 【トランスミッション】を選択して、[ENTER]
 をタップします。

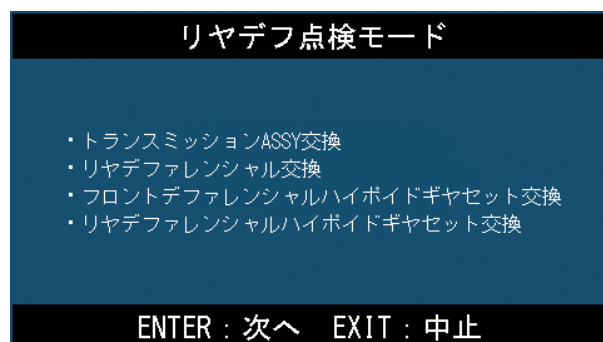
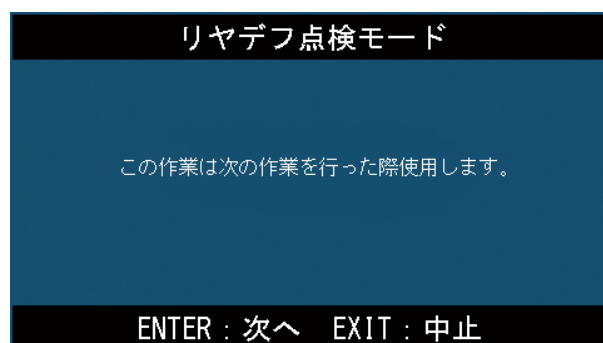


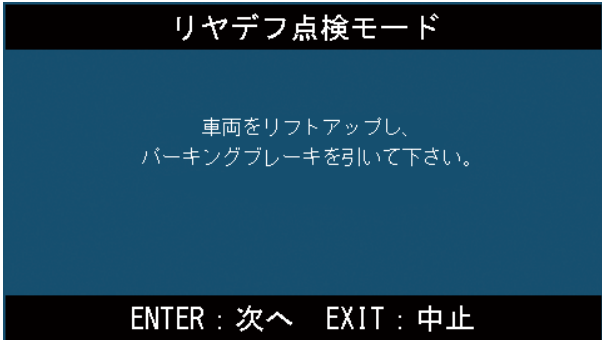
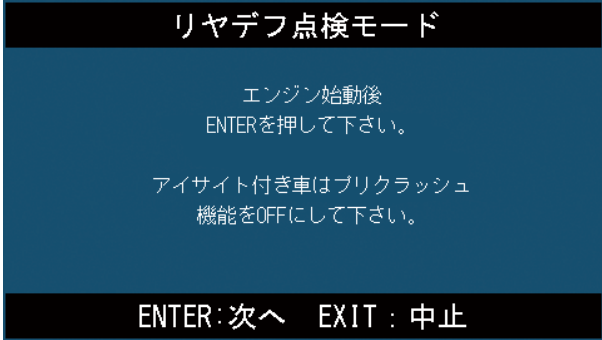
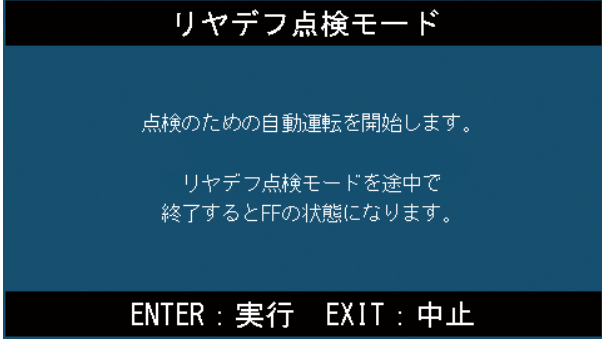
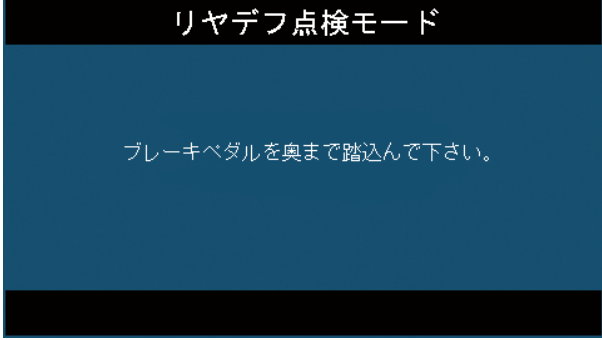
10. 『トランスミッション作業サポート』画面が表示
 されましたら、【リヤデフ点検モード】を選択して
 [ENTER] をタップします。



11. リヤデフ点検モードについての説明が表示されま
 す。以下の項目を確認して下さい。

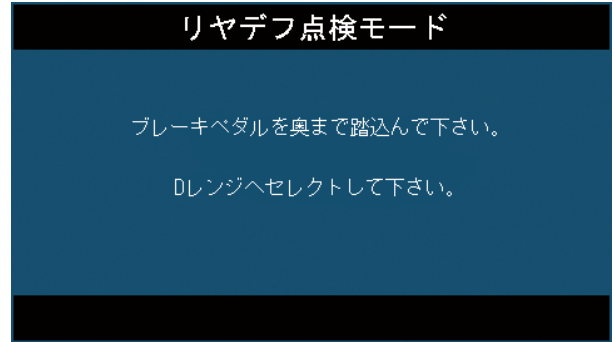
- ・トランスミッション ASSY 交換
 - ・リヤデファレンシャル交換
 - ・フロントデファレンシャルハイポイドギヤセット交換
 - ・リヤデファレンシャルハイポイドギヤセット交換
- 確認後、[ENTER] をタップして、画面を進めます。



<p>12. 車両をリフトアップし、パーキングブレーキを引いてから、[ENTER] をタップします。</p>	
<p>13. エンジン始動後、ENTER を押して下さい。アイサイト付き車はプリクラッシュ機能を OFF にして下さい。車両操作が完了したら、[ENTER] をタップして下さい。</p>	
<p>14. パーキングブレーキを解除、ステアリングを直進状態にして下さい。車両操作が完了したら、[ENTER] をタップして下さい。</p>	
<p>15. 点検のための自動運転を開始します。[ENTER] をタップします。</p>	
<p>16. ブレーキペダルを奥まで踏込んで下さい。(車両の操作で自動的に画面が変わります。)</p>	

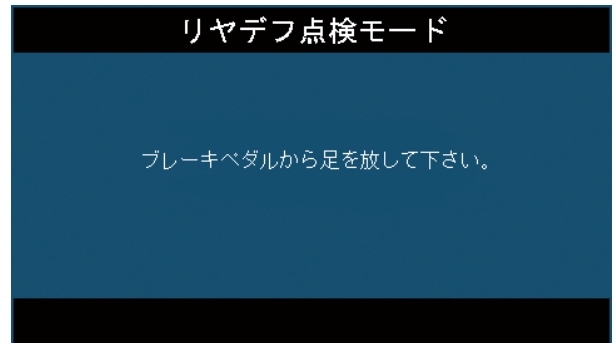
17. ブレーキペダルを奥まで踏込んで、シフトをDレンジへシフトして下さい。

(車両の操作で自動的に画面が変わります。)



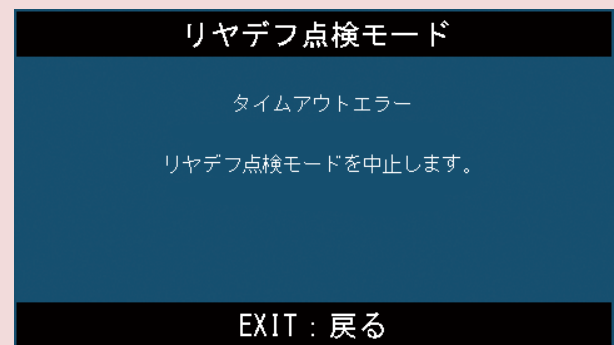
18. ブレーキペダルから足を放して下さい。

(車両の操作で自動的に画面が変わります。)

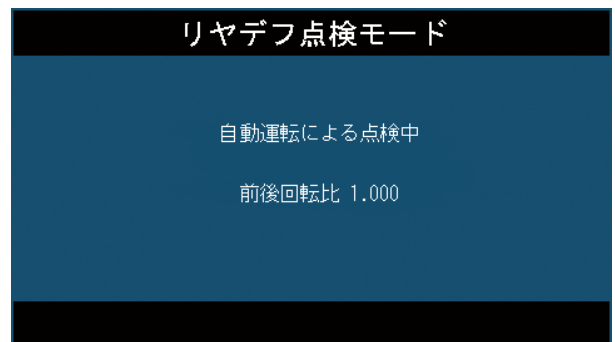


注意 : タイムアウトエラー

16、17、18、後述 21 の工程で約 20 秒経過すると右のエラーが表示されます。



19. 自動運転による点検中



20. TPM2000 の画面にリヤデフ点検モードの結果が表示されます。

• **正常に終了した場合：**

「リヤデフは正常に交換されています」

• **異常終了の場合：**

「リヤデフ異常が検出されました 再度リヤデフ取付時の項目を点検して下さい」

• **モードの途中で中断した場合：**

「点検を中断します 本点検モードを最初からやり直して下さい」の画面が出た際は、22 までの工程を終了してから以下の点を確認して下さい。

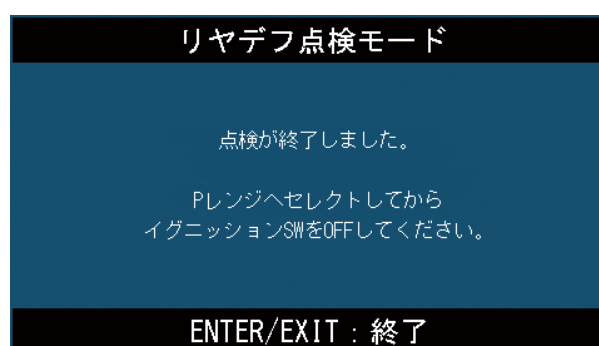
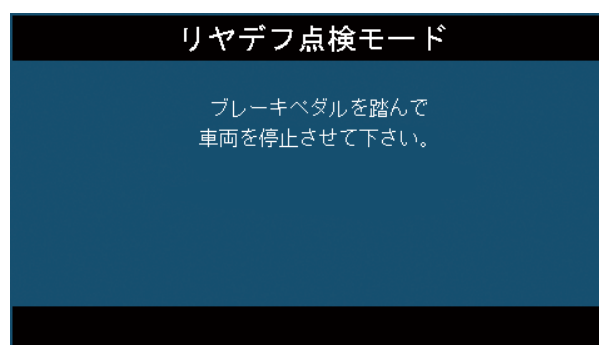
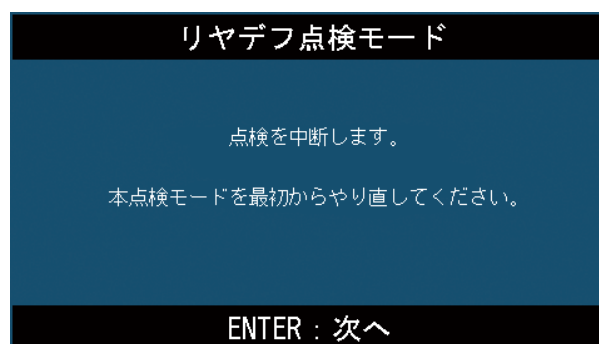
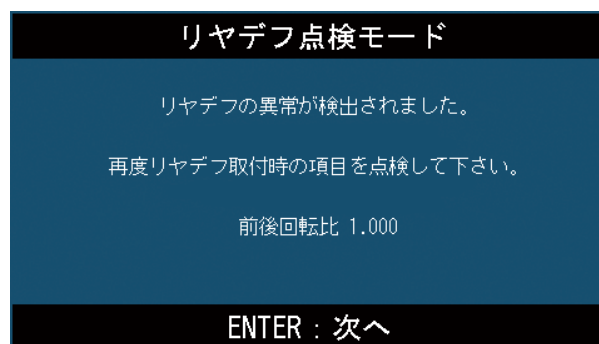
- TCU が故障を検出している。
- VDC が故障している。
- 自動運転中での発進後にブレーキを踏んだ。
- TPM2000 の指示に対して操作が遅すぎる。

21. ブレーキペダルを踏んで車両を停止させて下さい。

(車両の操作で自動的に画面が変わります。)

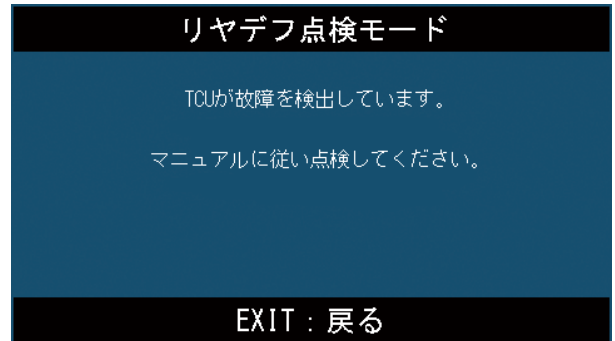
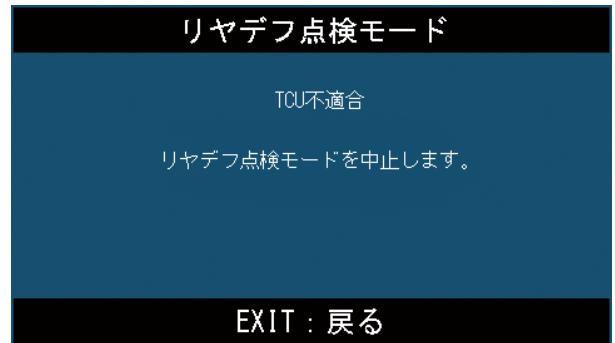
※ブレーキペダルを踏むと、振動と異音がしますが、そのまま踏み続けて下さい。

22. 「点検が終了しました。Pレンジへセレクトしてから IG SW を OFF してください」とメッセージが表示したら、リヤデフ点検モードを終了です。



エラー

右の画面が表示された場合は、下記の参考を読んで作業をして下さい。



● リヤデフ点検モードが正常に終了した後に、以下の警告灯が点灯する場合があるが不具合ではない。警告灯が点灯した場合は、メモリーを消去すること。

VDC/ABS、エンジン、パワーステアリング、アイサイト

- 正常に終了しなかった場合、リヤデフ点検モードが正常終了するまで再度繰り返す。
- 正常に終了しなかった場合、AWD ランプが 2 Hz で点滅します。
- リヤデフ点検モードが異常終了した場合、フロントデファレンシャルおよびリヤデファレンシャルが、車両の仕様と異なることが考えられる。
- リヤデフ点検モードが中断した場合は以下の原因が考えられる。

参考:

メッセージ	メッセージ異常終了の主な原因
<ul style="list-style-type: none"> ● 「点検を中断します」 ● 「点検を中断します 本点検モードを最初からやり直して下さい」 	<ul style="list-style-type: none"> ● TCU が故障を検出している。 ● VDC が故障している。 ● 自動運転中での発進後にブレーキを踏んだ。 ● TPM2000 の指示に対して操作が遅すぎる。
「TCU 不適合 リアデフ点検モードを中止します。」	リヤデフ点検モード対象車種でない。
「TCU が故障を検出しています。 マニュアルに従い点検して下さい。」	TCU が故障を検出している。